

領域4 インフォーマルミーティング議事メモ

平山祥郎（領域代表）

2010年9月24日（金）12:30～13:15 XA会場

代表 平山 祥郎（東北大）

副代表 山田 省二（北陸先端大）

運営委員 野村健太郎（理研）、大橋琢磨（阪大）、羽田野剛司（ERATO-JST）（～2010.9）

小寺哲夫（東工大）、三森康義（東北大）、橋本克之（東北大）（～2011.3）

【報告事項】

1. プログラム小委員会・領域委員会（2010.5.26）

(1) 2010年秋季大会の招待・企画講演、シンポジウム講演の検討と決定

- 招待講演、企画講演：領域4 関連の講演はなし
招待講演：全11件提案（7件採択、4件取り下げ）
企画講演：全4件提案（4件採択）
チュートリアル講演：全2件提案（1件採択、1件不採択）
領域4からの積極的な提案を期待。
- シンポジウム：領域4 関連1件採択
・ 領域4・3・8「スピン依存電気伝導～次世代のスピン트로ニクスを目指して」

25pRP

シンポジウム：全16件提案

1件保留が出たが、最終的には全提案が採択。部屋に関しては、各領域の優先順位が高いものから優先権。英語講演がある場合は、どのように相互理解を深めるか考慮が必要。

(2) 若手奨励賞に関して

審査の担当者の名称を審査委員に統一

男女共同参画のための年齢制限の緩和を明記（領域4 はすでに明記）

(3) 領域2 から学生優秀発表賞の提案があり、議論。当面は領域2 で試行してみて様子を見る。

(4) セッション「物理と社会」の位置づけ

春の学会でのみセッションを設ける。領域委員会で採否を決めるが、シンポジウム提案者を領域委員会に呼び説明を求めることもできる。これとは別枠で「理事会企画」を開催（ポストク問題、男女共同参画、ジャーナルの統合など）。

2. プログラム編集会議（2010.6.11）

(1) プログラム編集会議には、野村（理研）、小寺（東工大）が出席し、プログラム編成、インフォーマルミーティングの申し込み等の作業を行った。事前のカバーシート作成は全運営委員で分担した。

(2) 講演者の希望に基づき領域4・7 合同セッション「グラフェン」（24pRA）を作った。これとは別に、領域4、7 各領域でグラフェン関連のセッションをそれぞれ設けた。

3. 領域4 メーリングリスト（jps-semicon@appi.keio.ac.jp）への参加呼びかけ（継続的）

学会に関する各種情報や意見の交換が行われるので、学生も含め積極的な登録をお願いする。メーリングリストとその登録に関しては、領域4 のWeb（<http://div.jps.or.jp/r4/index.html>）を参照。

【審議事項】

1. 次々期運営委員（任期：2011.4～2012.3）の紹介・承認

太田剛（NTT物性基礎研）、小島磨（神戸大）、泉田渉（東北大）

2. 次半期の運営委員の確認

小寺哲夫（東工大）、三森康義（東北大）、橋本克之（東北大）（～2011.3）

天羽真一（理研）、井村健一郎（広大）、藤井達也（東大）（～2011.9）

なお、次期領域代表、副代表（～2011.9）は以下の通り

代 表： 山田 省二（北陸先端大ナノセ）

副代表： 白石 賢二（筑波大）

3. 運営委員の仕事分担の確認

・プログラム編成

業務分担を運営委員の間で調整（編成会議への出席は東京近郊の3名程度）

・領域HPのメンテナンス（1名）

担当者：井村健一郎（広大）（2010.10～2011.9の1年間）

・シンポジウム、招待講演、企画講演の計画（全員）

1年近くじっくり考え、任期最後の学会で何かを企画することが大変望ましい。

4. 若手奨励賞に関して
内規の応募資格から「なお、開始から2年間は39歳以下とする。」の記述を削除
5. 領域4・7合同のグラフィックセッションについて
今のスタイルを継続
6. その他の議論
 - ・ 井村委員からシンポジウムに関して、少しこれまでと毛色が変わった幅の広いものをやってみたいとの提案があり、半年後あるいは1年後を目指して検討することとした。また、領域4のシンポジウムは2件でも問題ないことを確認した。
 - ・ トポロジカル絶縁体に関して、領域4、11の重なりが指摘され、合同セッション開催の可能性が検討された。領域7、6との重なりも考えられ、今後、幅広くフレキシブルに検討を進める。
 - ・ 上記の検討と並行して、領域4のキーワードに「トポロジカル絶縁体、スピンホール系」を追加することが提案され、前向きに検討することを確認した。